

# Our world. Your move. 人間を救うのは、人間だ。 5月の赤十字社資募集にご協力を

昨年9月に発生した竜巻のような自然災害や住宅火災などが発生した場合は、日本赤十字社から布団、毛布、日用品セットが被災者の方に配られます。これら品物の費用は皆さまからの社資(活動資金)で賄われています。

赤十字は、皆さまから寄せられた社資によって、国境、宗教、人種を越えて、世界各地での救援活動はもとより国内での災害救護、医療活動、社会福祉事業など数々の人道的事業を推進しています。また、町内対象として、火災に遭われた世帯への救援物資の無償提供、災害救護品の備蓄、救急法講習などを行っています。

赤十字では毎年5月を「赤十字社員増強運動月間」とし、今年も5月に各地域の自治会などの役員の方々各家を訪問しますので、ご協力をお願いします。自治会等に加入していない方も、福祉健康課での受け付け及び金融機関口座振替を実施していますので、ご協力をお願いします。

## 消費生活情報

就職や進学、転勤に伴って3月から4月にかけては引越しサービスを利用する人が特に多い時期です。

全国の消費者相談窓口寄せられた引越しサービスに関する相談を見ると「荷物をなくされた」「新居の床に傷をつけられた」「苦情を申し出たが誠実に対応してくれない」など多岐にわたっています。

### アドバイス

- ①見積書、引越し約款は契約書という認識を持つこと。
- ②事業者は複数の見積もりを取った上で納得して決めること。
- ③引越し作業時及び作業終了時には点検すること。  
引越し約款では、消費者は、荷物の紛失や毀損について荷物を引き渡された日から3か月以内に通知しないと、事業者の責任は消滅することになるので注意が必要です。
- ④消費生活センターなどの公的な相談機関に相談する。

〔独〕国民生活センターより

参考：かしこい引越しで検索(全日本トラック協会)

[http://www.jta.or.jp/yuso/hikkoshi/pdf/kashikoi\\_hikkoshi2009.pdf](http://www.jta.or.jp/yuso/hikkoshi/pdf/kashikoi_hikkoshi2009.pdf)



消費生活相談を実施しています ☎991-1854 月～木曜日 午前10時～正午、午後1時～4時

## 放射線量測定結果について

毎月第1木曜日に実施している、町公共施設の放射線量測定結果をお知らせします。

測定の結果、町の基準を超えている公共施設はありませんでした。

■測定日／3月6日(木)＜第102回測定＞単位はマイクロシーベルト毎時

	測定場所	測定値
最小値	児童館(土の上)	0.071
最大値	老人福祉センター(土の上)	0.118

※町の基準…0.190マイクロシーベルト毎時(5市1町の基準は、測定の高さ地上1メートル0.230マイクロシーベルト毎時ですが、町では地上50センチメートルの高さにおける測定値が0.190マイクロシーベルト毎時を超えた場合は、放射線量低減化作業を行うこととしています。)

※その他の施設については、町ホームページをご覧ください。